歴史ごよみ

6月29日

▽丹下左膳の生みの親、死去　（昭和10年　1935年）

時代小説「丹下左膳」シリーズなどで三つのペンネームを使い分けて活躍した小説家、長谷川海太郎が死去した。35歳。「左膳」ものは林不忘、犯罪実録小説は牧逸馬、米国ものは谷譲次。剣豪ヒーロー「左膳」は連載中に映画化された。

▽ソウルの三豊百貨店崩壊　（1995年）

韓国ソウル市の三豊百貨店（地上５階）が営業中に突然崩壊、客や従業員ら約500人が死亡する大惨事となった。安全性軽視の設計によるビルの強度不足などが原因。追悼碑の設置は認められず、跡地には豪華マンションが建てられた。

ワイドしずおか

校歌に誇り 生徒と作者の絆

オンラインで再会喜ぶ

沼津・静浦小中９年生と三島出身の中山譲さん

画面上で中山さんと交流する生徒ら＝沼津市立静浦小中一貫校

沼津市立静浦小中一貫校（大川淳校長）の生徒が、同校の校歌を作詞作曲した「ゆずりん」の愛称で親しまれている三島市出身のシンガー・ソングライター中山譲さんとの交流活動を始めた。２０１４年の開校以来、校歌に親しんできた最上級生の9年生が卒業を前に交流を要請。中山さんが快諾し、オンラインでの〝再会〟を実現した。

同校は市中学校連合音楽会で校歌の合唱披露が恒例。校歌を選曲する学校が少ない中、生徒は「下級生に受け継ぎたい」と誇りを持って歌い続けてきた。新型コロナウイルスの影響による休校で、入学式が延期となり新入生に校歌を聴かせたいと昨年度の音楽会の様子を動画投稿サイト「ユーチューブ」に配信も。校歌への生徒の愛着を知った中山さんが、生徒の合唱を聴く機会を熱望。中学生活最後の年になる9年生の思いと重なり、交流活動が実現したという。

新型コロナウイルスの影響で、交流はビデオ会議アプリ「Ｚｏｏｍ（ズーム）」で行った。中山さんと開校前に一緒に歌を歌った経験のある9年生18人は、タブレット端末の画面上に中山さんが映し出されると歓声を上げた。

生徒は「大きくなりました」「握手を覚えています」などとあいさつし、校歌の歌い方の工夫を伝えた。中山さんは「再会できて感激。作者の意図をくみ取って歌い続けてくれてありがとう」とエールを送った。今後も交流を継続していくことを確認したという。

開校当時に事務担当として校歌の制作に携わったという大川校長は「校歌の歌詞の思いを感じて生徒が歌い、地域や学校への愛着の気持ちが芽生えてきている。中山さんに来校してもらえる日が楽しみ」と話した。（東部総局・水野紗希）

マスク開発で協業

浜松の製造業2社　芳香剤とセット販売

協業方針を話し合うソフトプレン工業とドウナカの役員と社員ら＝浜松市西区

浜松市西区の自動車部品と機械電装部品のメーカー2社がタッグを組み、夏向けの新型コロナウイルス対策品として、新開発のウレタン製マスクとマスク用芳香スプレー剤のセット販売を始めた。各社がマスク製造に参入し競争が激化する中、薄手のマスクに爽快感のある香りを掛け合わせ、協業で商品の訴求力を高めた。

事業連携したのはソフトプレン工業（前嶋文明社長）とドウナカ（梅田恵理子社長）。ソフトプレン工業は3月から通常のウレタンでマスクを生産していたが、通気性を高めた素材で新たに夏用マスクを開発した。

ドウナカ初の一般消費者向け商品となったマスク用芳香剤は、女性社員の開発チームが手掛けた。かんきつ系の天然アロマオイルを含み、マスク外側に吹きかけて使用する。

両社は静岡銀行の仲介を受けた。前嶋社長は「相乗効果で差別化できると思った」と話し、梅田社長も「逆境をばねに、女性のアイデアで新事業に挑戦したい」と意気込む。

マスク10枚と30cc入りスプレー1本で3千円（税込み）。ソフトプレン工業のホームページから購入可能。（浜松総局・高松勝）

平和実現 熱く訴え

「高校生大使」今永さん（静岡2年）選出

応募動機や平和への思いを熱弁する高校生
＝静岡市駿河区の静岡労働会館

国内外で核兵器廃絶や世界平和の実現を訴える「第23代高校生平和大使」の県内選考会（高校生平和大使静岡派遣委員会主催）が28日、静岡市駿河区の静岡労働会館で開かれた。平和大使には、静岡高2年の今永歩さん（16）＝静岡市葵区＝、長崎で署名活動や被爆者との交流を図る「長崎派遣代表」には、不二聖心女子学院高2年の木下桜さん（17）＝沼津市＝と静岡高1年の杉木千夏さん（15）＝焼津

れた。

県内の高

「私の平和

マにした小

し、スピー

接に臨んだ

では応募動

ピール、平

を交えて、

熱弁。今永

茶況

病害虫の発

県病害虫防除所が発表した7月の病害虫発生予察情報によると、茶はクワシロカイガラムシやヨモギエダシャクなどへの注意を呼び掛けている。

6月上中旬の巡回調査は、クワシロカイガラムシの平均寄生株率が20・4％（平年13・5％）と

平年より多

平年より少

生を助長す

く観察して

める。

ヨモギエ

月に入ると

増加するた

性の高い若

に防除を行

鼻緒に伝統織物 新作げた

静岡の水鳥工業

伝統の織物を鼻緒に取り入れた新作のげた
＝静岡市葵区の水鳥工業

げた製造販売の水鳥工業（静岡市葵区）が、地場の伝統工芸を取り入れた新作の展開を強化している。地域の作家との協業で茶葉を染料にした「駿河和染」や、マニラ麻を使った遠州の伝統織物を鼻緒に使ったげたをラインアップに追加した。

駿河和染職人の鷲巣恭一郎さん（静岡市葵区）と、伝統の織布技術を持つ「そま工房」（袋井市）からそれぞれ素材の提供を受けた。げた板は地元産のヒノキ材にこだわり、肌触りが良く足裏になじむ現代風のデザインに仕立てた。

水鳥工業によると、げたの販売は４月から初夏にかけてピークを迎える。今年は新型コロナウイルスの影響に伴う百貨店の休業や訪日観光需要の蒸発など強い逆風にさらされた。

水鳥友紀子社長は「身近な作家の活動に目を向け、感動を伝えていく。結果的に地場産業を未来につなげるサポートになればいい」と話す。

中川さん（浜松）大賞

静岡で県俳句大会

県俳句協

糸会長）は

市駿河区の

参画センタ

で本年度の

飲むプ

4日に

磐

老舗和洋

華堂（磐田

4日、「飲む

＝写真＝を

る。主力商

厚プリンを

柔らかさに

にふさわし

飲むタイプ

した。

プリン液

ンフルーツ

高いチアシ

れ、焼かず

で固めた。